

校長の学校経営方針

- 1 一人一人を大切に、学力・体力・感性を育む。
 - ・ひまわり学級との交流及び共同学習・合理的配慮の充実
 - ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業・指導の展開・ICTの利用
 - ・課外「吹奏楽部」
- 2 組織・制度を生かし学校の教育力を高める。
 - ・算数少人数・TT・都区講師活用
 - ・OJT体制
- 3 家庭・PTA・地域との連携／家庭・地域の教育力を活かしていく。
 - ・PTA活動
 - ・学校支援地域本部
 - ・たいさん木の広場

学校の教育目標

人間尊重の精神を踏まえ、地域社会や国際社会のよりよい形成者として、子どもたちが生涯にわたり自ら学ぶ意欲をもち、知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを目指す。

- ・進んで学ぶ子
- ・豊かな心をもつ子
- ・体をきたえる子

- ・日本国憲法
 - ・教育基本法
 - ・学校教育法
 - ・学習指導要領
 - ・教育委員会（都・区）の教育目標
 - ・区教育ビジョン
- 「個が輝き共に生きる文京の教育」

授業改善推進のテーマ

主体的に学ぶ児童の育成
～一人一人の自ら考え、表現する力を伸ばす～

児童の実態

- ・個人差はあるが、まじめに学習に取り組む。
- ・知識・理解・思考力・問題解決能力に課題のある子がいる。
- ・個人差、学年差が大きい。
- ・家庭状況は一般的に落ち着いている。
- ・自分の力に気付いて伸ばしきっていない。

特色ある教育活動

一人一人の教育的ニーズに応じ、「生きる力」をはぐくむため、次のような実践を行う。

- ① 「分からない子を一人もつくらない」を目標に掲げ、すべての子どもの学力の向上を目指す。そのために、少人数授業、複数教員による授業、個性を生かした小集団による学習を進める。また、水曜日の午後に個別指導の時間を設けてきめ細かな指導を行う。
- ② 週3回の朝読書、そのうち一回の保護者ボランティアによる読み聞かせ、昨年度設置した「林町の60冊の本」を起点に、読書活動の質と量の充実を進める。
- ③ 学区内にある小石川植物園を活用して、自然とふれあう学習活動を進める。
- ④ 縦割り清掃や縦割り班活動など異学年集団の活動を充実させ、責任を果たす充実感や信頼される喜び、自己有用感などを実感できるようにして、積極的に生きようとする心を育てる。
- ⑤ 障害のある人との相互理解を深めるとともに、相手を思いやる豊かな心の育成を目指し、特別支援学級との計画的な交流及び共同学習を推進する。また、設置校であることを生かした特別支援教育を推進する。
- ⑥ 地域の特性を生かし、町会と一緒に取り組むあいさつ運動、児童の健全な育成を目指す「たいさん木のひろば」、多くの地域住民が参加するスクールガードなど、家庭・地域と連携した教育活動を推進する。

授業改善の視点

- 明確な課題提示による目的意識を持った学習活動
- 様々な体験と具体物の操作による学習活動
- 自分の意見や考えを話す活動の重視
- 話し合い活動の重視
- 見通しをもつ過程の重視
- 実生活により近い学習活動と学習活動の継続
- 主体的な学びを実現するための授業構成の工夫

生活指導

- 全職員が一貫性と継続性をもって基本的な生活習慣の形成を図る。また、心がふれ合う機会や場を多く設け、年間を通してあいさつの指導を推進し、好ましい人間関係の構築に努める。
- 自他の生命を尊重する度を養うとともに危険予知能力を高め、健康で安全な生活を送ることができるようになる。そのために、日常生活における事故や交通事故の防止を目指す指導や、不審者の侵入を想定した避難訓練及びセーフティ教室を実施する。
- 学級での指導及び教育相談を充実させて児童理解を深め、いじめや不登校・問題行動、児童虐待などの未然防止・早期発見を図る。その際、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を積極的に図る。
- 学校休業日等では、学校・家庭・地域との連携を一層密にし、地域との協力による「たいさん木のひろば」などへの参加を奨励して、望ましい人間性の醸成を図る。

指導方法・指導内容の工夫

- 少人数編成による指導や個別指導、繰り返し指導、複数教員による指導など指導方法・指導体制及び評価方法の工夫・改善に努める。
- 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、ICT機器を活用し、興味・関心に基づき主体的な学習が促されるように、学習過程の工夫をする。
- 自主的・継続的に学習に取り組む力を育てるために、望ましい学習習慣の定着を図る。
- 国語科を中心に、表現する力を高めることを目指し、全校で組織的に指導の充実と改善に取り組む。

進路指導

- 充実した学校生活を送る中で、自己を見つめ、自己のよさに気付けるようにする。
- 子どもの個性を尊重し、能力・適性に即した指導に努めて、将来にわたる生き方を考え、自己実現に向けて主体的に生きていこうとする態度と能力を育成する。
- 子どもたちの様々な挑戦を積極的に支援する。

道徳教育

- 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育て、自他のかかわりや自己の生き方を深く見つめることができるようにして、内面に根ざした道徳性を養う。
- 道徳教育の全体計画を基に、計画的、発展的な指導によって豊かな人間性や社会性を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚を促し、道徳的実践力を高める。また、「道徳公開講座」を通して保護者・地域の理解と支援を得、連携して児童の育成を進める。
- 「心のノート」の主体的な活用を促し、日常的に道徳的な心情を養う。

特別活動

- 望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。
- 学級活動
 - 基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる指導を通して、道徳的判断力・実践的態度の向上を図る。
- 児童会活動
 - 児童の自主的・自発的な活動を通し、友だちと協力し合いながら豊かな学校・学級生活を築こうとする態度を育てる。
- クラブ活動
 - 共通の興味や関心を追究する活動を通して自主性・社会性を養い、個性の伸長を図る。
- 学校行事
 - 諸行事の体験的な活動を通して、協力・責任・勤労などの態度を育てる。

総合的な学習の時間

- 問題解決能力や表現力などの伸長を目指し、子どもの実態に応じた学習を展開する。また、学習にコンピュータを活用した活動を展開する。

国語	「話す」「聞く」「書く」「読む」力を身につけさせると共に豊かな表現力を高める。
社会	調べて考える力をのばし、社会事象の意味やはたらきを多面的にとらえようとする態度を育てる。
算数	基礎となる原理をしっかり理解し、問題解決をしながら数学的な考え方を身につけていこうとする態度を育てる。
理科	事象をもとに科学的思考の段階を踏まえた指導をし、科学的思考を高める。
生活	具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然に気づき、絵や文などで表現できるようにする。
音楽	音楽の美しさ、楽しさを感じ取る心を養い、豊かな情操を培う。
図画工作	造形表現や鑑賞を通して、豊かな情操を培う。
家庭	家庭生活についての理解を深め、家族の一員としてよりよい生活を築こうとする心情を育てる。
体育	健康安全について理解し、運動を楽しむとともに体力の向上を図り、お互いに励まし助け合う態度を養う。
外国語活動	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、言語や文化について体験的理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養う。

家庭、地域社会、他の学校や関連機関

- ・家庭と協力して基本的な生活習慣と学習習慣を身につけさせる。
- ・地域と連携して、地域社会における好ましい人間関係をつくる。
- ・地域の人々の協力を積極的に生かして教育活動を一層充実させる。
- ・地域の自然や文化に親しみ、郷土を愛する心を育てる。